

第5回日ミャンマー農林水産業・食品協力対話(幹事会)

1 概要

開催日、場所:平成31年1月28日、ネーピードー

概要: 政府間セッションでは、「ミャンマーにおけるフードバリューチェーン構築のための工程表(2016年～2020年)」の進捗状況を両国間で共有。本工程表の評価及び次期工程表の作成に向けた実務協議の開始を議論。また、双方それぞれの関心事項に関する意見交換、及び農業・食品分野へ進出した日系企業からの要望に係る共通事項を要請。

官民セッションでは、40を超える日緬両国の企業・団体が参加。ミャンマー側の提案により2つの分科会に分かれ、農業生産、物流、農業機械及び畜産分野に関連する企業から、それぞれの取組状況に加え、課題解決に向けた提言がなされ、両国政府を交えた活発な意見交換を実施。さらに、ビジネスマッチングの場としても寄与。

2 出席者

日本側: 農林水産省国際部国際交渉官、在ミャンマー日本国大使館、JICA、23の農業・食品関係企業・団体の代表ほか

【出席企業・団体】

ミヨシ、アルプス薬品工業、西田精麦株式会社、青紫蘇農場、ミャンマーブルワリー、ノベルズ、フローラ、Borderless Link、フクダ・アンド・パートナーズ、F&P MYANMAR、福島工業、東京サラヤ、日本工営、Yangon Can Manufacturing、ケイワイノベーション、みのる産業、MInoru-Keiwa Myanmar、Sumitomo Corporation Asia & Oceania、丸紅、伊藤忠商事、双日、エムケー、ミャンマー日本人材開発センター

ミャンマー側: キン・ゾー農畜産灌漑省次官、チョー・ミン・ウー同省次官、チョウ・ウェ同省次官、投資省、商業省、保健・スポーツ省、緬側の民間約20団体



(政府間セッション)



(官民セッション)